

旧小千谷総合病院跡地整備事業に関するPFI事業者選定委員会（第1回）

議事概要

1. 開催日時及び開催場所

日 時：平成30年12月12日（水）15:00～17:00

場 所：小千谷市役所4階大会議室

2. 出席委員

委員長：澤田 雅浩（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授）

委 員：平賀 研也（県立長野図書館 館長）

委 員：津村 泰範（長岡造形大学 造形学部 建築・環境デザイン学科 准教授）

委 員：山崎 淳（小千谷市 副市長） ※任期：平成30年12月21日まで

委 員：松井周之輔（小千谷市 教育長）

3. 議題

- ・委員自己紹介・委員長選出
- ・事業概要について
- ・導入機能について
- ・今後のスケジュールについて

4. 主な意見等

（事業計画について）

・基本計画や施設計画においては、図書館や（仮称）郷土資料館についての一般的な内容が示されている。小千谷市が求める事業の特徴を明確化し事業者等に伝える必要がある。また、まちづくりの観点から賑わい創出が要点であることを明示すべき。

・予算上の制限がある中で、現在の図書館のサービス内容とコストを踏まえ、新しい施設においてどこに費用をかけるのかを明確にする必要がある。また、賑わい創出のためには、子どもの遊び場や（仮称）郷土資料館等その他施設機能を総合的に活用して企画する部門やディレクターの人件費等も確保すべき。一体的な運営による効率化やノウハウを活かしたイベント等の積極的な提案に期待したい。

・事業者にどのような施設をつくり運営してほしいか、発注者としてテーマやビジョンの要点を伝える必要がある。

（事業方針について）

・「賑わい創出」という観点では、図書の貸し借りのみに特化した施設でなくてもよく、毎日のように訪れる場所にすることが重要。蔵書数のみが図書館のクオリティを左右するもので

はなく、電子書籍等の最新機器の利便性等がどの程度この施設に求められるか、要求を明確にするべき。

・今後図書館の関連技術や利用方法が変わり、ツールが陳腐化する可能性もある。長期間にわたって使用するためには、柔軟に使い方を換えられる必要がある。

以上